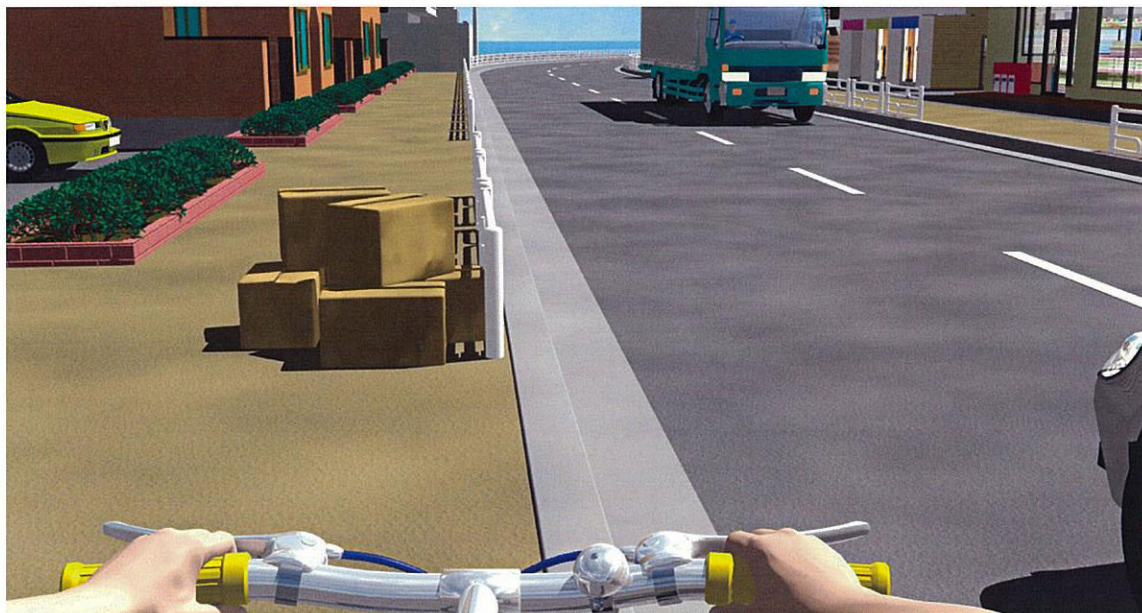


## 歩道を走ってきたら前方に段ボールが積んであります



- 普通自転車通行可の歩道をまっすぐ走っていくと、前方に段ボールが積んであります。
- 段ボールで通りにくいので、あなたは進路を変え車道に出ようと思います。



あなたはどこに注意しますか？  
その個所にシールをはってください。

### 危険ポイント

#### ❗見える危険

- ア…歩道と車道との段差——車道に出るとき、段差が大きいとハンドルをとられ、ふらつくかもしれません。
- イ…あなたの横に来ている四輪車——前から大きなトラックが来たのでこの四輪車は少し左に寄ろうとしています。あなたがふらついたり、車道に出過ぎると、この車と接触してしまいます。
- ウ…歩道前方の駐車場から出てくる四輪車——後ろから来た車イが通り過ぎたら、車道に出てくるかもしれません。

#### ❗見えない危険

- エ…右後方から来る二輪車——あなたには見えませんが、近づいてくるかもしれません。

### こんなふうに行きましょう

- 自転車は歩道の区別があるときには車道を走らなければなりません。道路標識により自転車が通行可能な歩道があれば歩道を、路側帯が引いてあれば路側帯の中を走るようにしましょう。
- 自転車はゆっくり走るとふらふらします。若い頃と比べ、バランスを保つ力も落ちてしまいがちです。遅い速度で進路を変えたり、段差の大きい場所を、車が来ているかどうか顔や体を傾けたまま降りようとする、ふらつくことがあります。
- この場面のように障害物があったり、工事中などでやむを得ず車道に出るときは、車の通行量が多いところでは、一度自転車から降り、周囲の安全を確認し、次のガードレールの切れ目まで、自転車を押して歩く方が安全なこともあります。

